

2021年9月1日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

AI（人工知能）技術を活用した自社開発デジタルソリューションの提供開始について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）は、デジタルトランスフォーメーション（DX）の取り組みの一環として、AI（人工知能）技術を活用した自社開発デジタルソリューションの社外向け提供を開始します。第一弾として、AI技術にOCR（光学的文字認識）技術を組み合わせて開発した「決算書入力 AI」のサービス提供を開始することをお知らせします。

「決算書入力 AI」は、膨大な時間がかかっていた取引先の決算書データを与信システム・Excelなどに転記入力する業務を自動化するために開発したソリューションで、毎年数万社分の決算書を自社システムに入力している SMFL では、本ソリューションの導入により、1 決算書あたり最大 70%、年間で数千時間相当の省力化を実現しました。金融機関として年間数万社の財務諸表入力・分析業務の中で培われた会計知識に、AI と OCR 技術を組み合わせて開発したことが特徴です。決算書の画像ファイルをアップロードするだけで、AI が「帳票種別判定」「勘定科目・数値の抽出」「勘定科目割り当て」「財務指標計算」を行うため、AI の処理結果をブラウザ上で確認・補正するだけで決算書の転記入力が完了します。決算書に記載された勘定科目名や金額の社内システムへの転記入力作業が不要になり、入力のための作業時間と入力ミスの削減など業務の生産性向上に貢献します。

本ソリューションを社外向けに提供するにあたり、自社で開発・利用しているオンプレミス版に加えてクラウドでの利用環境も構築しました。また、取引先ごとに異なる決算書勘定科目を、各社がそれぞれ設定した勘定科目名に自動で読み替える機能を準備し、金融機関として求められる高度な情報セキュリティ管理に基づきサービスを提供することで、多くの企業に簡単・安全・安心にご利用いただける環境を整備しています。

SMFL は Our Vision（私たちの目指す姿）の一つとしてデジタル先進企業を掲げ、デジタルをエッジとしたビジネスの変革を推進しています。自社内に AI エンジニアを擁し、AI、IoT、AR などの先端デジタル技術を活用したデジタルソリューションを自社開発しています。今後も、デジタル技術の研究開発と新たなソリューションの開発を推進するとともに、開発したソリューションの実用化と社外へのサービス提供を通じて、社会のデジタルシフトに貢献していきます。

< 「決算書入力 AI」 のイメージ図 >



※ 「決算書入力 AI」 についての詳細、お問合せは以下のサイトをご参照ください。

URL : <https://digitallab.smfl.co.jp/>

以 上

【プレスに関するお問合せ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 広報 IR 部 山本 TEL 03-5219-6334